

株式会社 三計テクノス 様の両立支援の状況

【基準を満たしている項目】

行動計画で定めた目標を達成したこと

行動計画で定めた目標は以下のとおり

○計画期間内に、育児休業の取得率を次の水準以上にする

男性社員・・・取得率を6%以上にする 女性社員・・・取得率を80%以上にする

→管理職を対象とした研修の実施、対象社員へ制度周知する等した結果、男性50%、女性100%となった

○小学校入学前までの子を持つ社員の短時間勤務制度を導入する

→社員ニーズを把握したうえで制度を導入した

○令和4年4月までに所定外労働を削減するためノー残業デーを設定・実施する

→社内アンケートや各部署での問題点検討により、ノー残業デーの運用規程を策定し実施した

計画期間内における育児休業取得率

男性の育児休業取得率：50%

3歳から小学校就学前までの子を育てる労働者を対象とした所定外労働の制限及び短時間勤務制度並びに始業・終業時刻の繰上げ・繰下げの制度を講じていること。

時間外労働及び休日労働に関する状況

○直近の事業年度における労働者一人当たりの各月ごとの時間外労働及び休日労働の合計時間数

合計時間数が各月全て45時間未満



Q1 仕事と子育ての両立の取組において、従業員の方の声をお聞かせください。

A (男性社員の感想)

私は、子供が4人おりますが、二人目から四人目まで3度育児休業（一回に2~3週間程度）を取得しました。毎日が忙しい中、特に覚えているのは、妻が産後入院している間、上の子供たちを保育園へ送迎したことです。育児休業の期間は、子供たちと過ごした有意義な時間になったと感じています。

また、子供の病気などで突発的に休みを取ることもありますが、今の職場は利用しやすい雰囲気ができていて、働きやすい環境であると感じています。

Q2 行動計画における仕事と子育ての両立支援や働き方の見直しの取組において、職場内でどのような影響がありましたか。

A 男性社員の育児休業取得について、職場内で制度の認知や理解が進んだことにより、周囲に気兼ねすることなく、安心して育児休業を取得出来るようになりました。

日頃から、各職場で、何時誰が休んでも対応できるようジョブローテーションを行いサポート体制の充実を図るなど、休みやすい環境整備に取り組んでいます。

Q3 今後の子育て・次世代支援において会社で特に力を入れて取り組みたいことを教えてください。

A 少子高齢化の進行・働き方の多様化・共働き世帯の増加などに伴い、育児休業取得（特に、男性）の促進による子育てしやすい職場環境づくりや短時間勤務制度の充実など、社員一人ひとりのワークライフバランスにあった職場環境の実現を目指していきたいと考えています。